

## 3年ぶり実施の行事や学習、芸術の秋

太宰府小学校の校庭には、サクラやカエデ、カキノキ等多くの種類の木があります。それらが青空に映える赤や黄に色づき、秋の深まりを感じさせてくれる今日この頃です。天気も良く過ごしやすい気候の中で、子供たちは熱心に学習に取り組んでいます。

今年は、テレビのニュース等で「3年ぶりに〇〇が開催されました。」といったフレーズを耳にします。各所で、コロナ禍で中止や規模が縮小されていた伝統行事や催し等が完全形で実施されていることが紹介されています。それは、太宰府小学校でも同様です。3年ぶり、1～3年生にとっては初めての学習や行事が、この秋実施されています。

その一つが19日に行われる「とびうめ発表会」です。時間を短くしたりマスクを付け歌ったり例年より子供同士の距離を取ったりと感染症拡大防止の対策をしながらではありますが、学年ごとに歌やリコーダーの演奏の発表をします。今は、毎日その練習に余念がありません。“体を揺らしながら”“振りをつけて”“呼び掛けをはさみながら”“きれいな高音を響かせ”“高音と低音を重ねきれいなハーモニーを”それぞれの学年でテーマを決め工夫しながら歌や演奏をしています。子供たちが、学年の友達とみんなで声を・心を合わせて歌うこと演奏することの楽しさを味わうことができれば嬉しいです。発表会当日は、児童1人につき保護者の方の参観は1名と限られていますが、子供たちの素敵な姿をとくにご覧ください。

二つは、「福岡県児童画展」です。子供たちの描いた絵画や版画の作品展です。教室を覗くと、シーンとした中で絵を描くことに集中する子供たちの姿が見られます。四つ切り画用紙いっぱい絵を描くことは時間がかかり集中力もいるので、子供たちにとっては大仕事です。中心となる人物を大きく描いたり、風景等細かくたくさん物を描いたり、その子その子の思いが表れていました。どんな絵ができあがるか楽しみです。

年に1度の行事や学習は、子供たちにとって、日々の学校生活に潤いや彩りを与えるものになる大切なものです。地域でも3年ぶりの行事が実施されているところもあるようです。参加することで、子供たちは地域への愛着を更に深めたり挨拶やお話をして様々な方とコミュニケーションを取ったりすることができると思います。地域の皆様、太宰府小の子供たちがお世話になります。よろしくお願いいたします。

## 創立150周年記念に向けて

来年度、太宰府小学校は、創立150周年を迎えることはご存知のことと思います。その記念事業を行うために、準備委員会を立ち上げ、組織や事業の概要等を決めました。その後、7月に実行委員の公募をし、応募していただいた太宰府小現保護者の方、OGの方、PTA本部役員さん、総勢約20名で実行委員会を立ち上げ、第1回実行委員会をもちました。今後、1年かけ、記念事業の準備をしていきます。実行委員の皆様よろしくお願いいたします。なお、記念事業のメインである創立150周年記念式典は、令和5年11月9日(土)に行うことに決定しています。保護者・地域の皆様にお知らせします。



【とびうめ発表会練習風景】